

令和8年度の「グランドデザイン」は「一瞬で核心が伝わる」ことを大切にプロジェクトチームの教職員が議論を重ね作成しました。今の時代、スマホで確認される方も多いため、文字を詰め込みすぎず、余白とイラストで本校の教育方針を語る構成にしています。

作成に当たっては、令和7年度の学校評価、職員会議、学部会等の諸会議での記録をベースに令和2年度から続いた学校教育目標をアップデートしました。

本校では、「子どもを真ん中に」据え、「教職員・保護者・地域がワンチームとなり、子どもの20年後の幸せを共に描く」ことを基本理念としています。私たちが目指すのは、子どもたちが「自立と社会参加」に向けて、「自分で自分の明日をつくる」力を育むことです。

令和8年度の重点は、子どもも大人も「ワクワクする学校」です。具体的には、「人権」「ウェルビーイング」「つながり」の視点を大切にしながら、学校と地域が互いに助け合い、感謝し合える「互惠的（ごけいてき）」な学校を目指します。

令和6年度から実施している七飯中学校との「インクルーシブな学校運営モデル事業」は、いよいよ最終年度を迎えます。町内の小学校や高校との交流及び共同学習を視野に入れるとともに、校内研究と連動し、教育課程に位置付けることを目指します。事業終了後も持続可能な取組として町内の「当たり前」として根付くこと、共生社会の礎になることを願い推進していきます。

児童生徒像の実現に向け、3つの約束をします。

子どもが

- ・「分かる・見通せる」から、安心できる
- ・「できる・選べる」から、自信がもてる
- ・「認めてくれる・つながる」から、うれしい

と感じる関わりです。

より良い教育を継続するために、学校組織のあり方も変えていきます。

「先生たちの働き方」を入れました。先生が心に余裕を持って、毎日笑顔でいること。それが、子供たちの最高の笑顔を引き出す一番の近道だと考えているからです。

令和8年度も本校の教育活動への御理解と御協力をよろしく申し上げます。